

(学習会報告の続き)

やはり一番難しいのはマットのカッティング。きれいな45度に切れずずれたり、ささくれ立ったりしてしまい、結果的にはほとんどの人が手慣れた鈴木さん頼りとなってしまいました。作業の様子と、完成作品は写真の通りです。



採寸



マットを切る



ずれないように物差しをしっかりと



完成作品

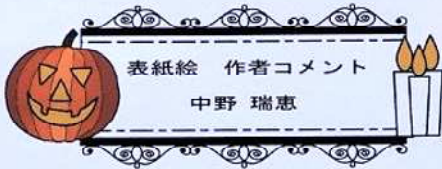
はんの会 事務局  
〒274-0062 船橋市坪井町600-29  
安田 彰 Tel・Fax 047-464-6870  
ホームページ : [www.hannokai.net](http://www.hannokai.net)

# はんの会

No.251



表紙絵 中野 瑞恵  
2022年10月1日発行



表紙絵 作者コメント  
中野 瑞恵

題名 秋風

- ① 全てコログジオン原紙で版を作り、各色で刷る。
- ② 6月の指骨折以前に刷っていたものに、今回、何色か加えて刷った。

## 10月の学習会に変更について

日時 10月9日(日) 13:00~16:30  
会場 初台区民会館

- 9月表紙絵の制作プロセスと解説
- 額マット制作 そのII (担当 鈴木)

マット切を中心に、一度使ったマットを少し広く、また狭く切り直し、自分なりにした手直しをしてみましょう。

(持ち物)  
・カットする紙・自分が使用している道具

(鈴木さんが用意する物)  
・マットの紙材・定規・マットカッター  
・下敷きマット等

## 9月の学習会報告

会場の関係で、9月11日(日)の学習会は鈴木さんのアトリエ(足立区舎人)で開催。会場提供だけではなく、飲み物やコーヒーをご馳走になったうえ、現役カメラマン時代の貴重な作品(来日されたエリザベス女王ご夫妻と昭和天皇ご夫妻の記念写真や歴代首相等の肖像写真、著名人映像作品の制作過程写真、等々)を拝見し、いつもとは違った学習会となり、楽しくも充実の半日でした。

### 1 表紙絵の解説 (13:00~14:00) ○ 8・9月合併号「慈雨」(鈴木)

- ① 同合併号資料に基づき解説。
- ② 雨不足の日々、お湿りがほしいというのが制作のきっかけ。縦罫線の入った厚手の用紙の活用と併せて図柄を決定。
- ③ シンプルな構図と、版面ならではの重色効果、紙の縦線の活用と、意欲的に取り組みました。
- ④ 本人は「手を掛けた割にはモノにならず残念」といいますが、どうしてどうして、構図といい、色づかいといい、見事でユニークな作品となっています。



### 2 学習会「簡易額縁の制作」(安田・鈴木)

はがきサイズの作品を飾ろうと思っても、画材屋に頼んでマットを切ってもらったり、適当なサイズの額を求めたりすると、それなりの手間とお金がかかります。そのため、せっかく作った作品も仕舞い込まれているケースが多いのでは?

そこで、ボール紙と桐の材を使った、軽くて簡便な手作りの額を作ってみました。軽いので、壁に留めた画紙にたこ糸をそのまま掛ければ立派な額装となります。

時間の関係で素材は事前に半完成したものを用意し、マットのカッティングとボンドによる貼りつき作業を主としました。使用用具(のこぎり、ノコギリ・ガイド〔切断45度角専用工具〕、マットカッター-45度〔額装料め切りカッター〕等)は今後の参考のため用意しました。